

令和6年度 自己評価結果

1 学校の教育目標 <校訓>

<校訓> ～技を競って 心を磨く～

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

(1) 学校の教育目標

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。	④	3	2	1
b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。	④	3	2	1
c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。	4	③	2	1
d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。	4	③	2	1

<現状>

令和6年度は「第16回全国理容美容学生技術大会 四国地区大会 理美容甲子園2024」に全員が応援も含めて参加したりすることができた。大会ではヘアデザイン画部門で、優秀賞5名、敢闘賞2名、計7名が入賞するなど優秀な成績を収めた。ヘアデザイン画部門で優秀賞を受賞した5名の生徒の作品は全国大会「理美容甲子園 2024」に出場した。本校の校訓「技を競って 心を磨く」の伝統を受け継ぎながら、1年生、2年生ともに美容技術の向上と修得に努めている。今後も地域に開かれた学校づくりを実現しながら、社会に貢献できる人材を育成していく。

(2) 学校運営について

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④	3	2	1
b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。	4	③	2	1

c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。	④	3	2	1
d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。	④	3	2	1
e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。	4	③	2	1
f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。	4	③	2	1

<現状>

学校運営では、学校が継続して運営していけることが最大の原則であり、長期的な視野に立った経営が重要である。財務面については事業計画に基づき、予算執行を無理なく安定して実施するため、理事長の判断を仰ぎながら、事務主任との連携を密に適切な予算の執行に努めている。また、教育活動においては、教育過程が適切に実施できるようカリキュラムを編成し、校長、教頭、教務主任や学年主任が常に連携しながら、円滑なカリキュラムの実施に努めている。税理士や社会保険労務士など専門家の意見も聴取しながら、適切な組織体制の整備に努めている。今後も事業計画の実施については、その都度、社会情勢を鑑みながら円滑に進めていきたい。また、情報の公開については、随時Instagramやホームページに情報を公開することで、積極的な情報発信を行っていきたい。

(3) 教育活動

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	④	3	2	1

h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1

<現状>

本校では、スタイリストとして活躍の場を広げることができるよう、卒業までに全員の生徒が「ABEアイラッシュ エクステンション アシスタントディレクター」「認証福祉理美容師養成講座（プロ級）」「OPIベーシックネイルカラー課程修了証」「日本ネイリスト検定3級」（希望者対象）「衛生専門課程美容科 専門士」（高卒専門課程）などを取得できるようカリキュラムを編成している。また、今年度も新居浜市年金事務所、愛媛県労働者福祉協議会と連携し、「チームズ」を活用したwebでの年金セミナーや、労働者セミナー、消費者セミナーを開催した。企業と連携した実践的な指導では、職業教育の視点に立ち、専門家によるネイリングやカラーリング、メイクアップの授業をカリキュラムに組み込み、より実践的な教育に努めている。教職員研修では、今年度は香川県で開催された即戦力養成講習会に3名の教員が参加し、学んできた技術を実際に現場で生徒が即戦力として使えるよう実践的な技術指導にも力を入れた。また、四国地区理容師美容師養成施設教職員研修会にも教員が4名参加し、理容美容に関する動向や最新事情に触れ、認識を新たにするとともに美への感性を高めることができた。ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験についても、本校には2名のABEアイラッシュ エクステンションズ ディレクターの資格をもつ教員がおり、本校内で試験を実施できる体制も整備されている。本年度はさらに技術の向上を目指し、1名がABEまつ毛エクステンションフォローアップ研修会に参加した。

（４） 学修成果

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
b 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
c 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

<現状>

就職率の向上に関しては、卒業生の美容関連企業への就職率は100%、中途退学者は1人であった。昨年度と同様に実務実習店舗と連携して、実習の成績評価や状況を的確に把握し、就職活動への意欲付けを図ったり、企業等の求人案内をいつでも誰でもが閲覧できるように職員室に備え付けたり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど、一人一人へのサポートに努めてきた。本年度は、地域の理美容店、京都・松山・関東・千葉方面など就職ガイダンスにも力を入れた。国家試験に関しては、本校教員が国家試験実技試験の審査員や主任等を務めており、実技でのチェック項目に関して細かく指導し、模擬試験を事前に何回も実施するなど取り組んでいる。指導教員が実技面での指導事項や重点事項を、自ら研修会に参加して理解し、生徒に具体的に指導できる体制が整っている。令和6年度8月・9月の通信課程での理容師・美容師国家試験について新卒者の合格率は、修得者コース（理容・美容）100%、理容科通信課程（実技100%・筆記100%）、美容科通信課程（実技100%・筆記67%）、昨年の昼間課程での国家試験においては美容科（実技100%・筆記70%）であった。筆記試験の合格に向けては、生徒がなるべく休まずに登校し、授業に参加することが重要であり、今後も個別に温かく声掛けを行っていききたい。

（５） 学生支援

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
d 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
e 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
f 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

<現状>

高等教育の修学支援新制度等を活用している生徒は現在約31%となっており、生徒が継続して認定を受けることが出来るように出席率や成績の面において、一人一人への助言や指導を行うなど、きめ細やかな対応に当たっている。生徒の放課後の様子や生活習慣については家庭との連携が不可欠であり、今後も家庭との連絡を密に、より良い方向へ改善していけるよう努めていきたい。また、経済的に配慮が必要な生徒においては、授業料の納入について個別に相談に応じきめ細やかに対応している。また、生徒が心の

問題を抱えて登校しづらい状況である場合には、生徒と個別に面談するなど、悩みを聴ける相談体制を整備している。生徒からの個別の悩み相談に関しては、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら、気軽に相談しやすい体制が整備されている。本校の特色でもある少人数指導で家庭的な温かい雰囲気の醸成に向けて今後も尽力したい。

（６） 教育環境

評 価 項 目	よくできている… 4	できている… 3	あまりできていない… 2	できていない… 1
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
b 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

<現状>

防災面においては、「シェイクアウト愛媛」などの避難訓練を実施したり、教室にヘルメットや非常持ち出し袋を設置したりするなど、日頃から防災意識を高めている。火災報知器の点検や消火器設備の補充なども定期的に行い、安全・安心に努めている。今年度もシェイクアウト愛媛 プラスワン訓練に参加して防災意識の高揚に努めた。また、校庭に雑草が生えないように防草シートを埋めて整備するなど環境美化に努めている。

（７） 学生の受入れ募集

評 価 項 目	よくできている… 4	できている… 3	あまりできていない… 2	できていない… 1
a 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
c 学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

<現状>

本校は少人数学級で編成されているため、学校見学については随時、個別にきめこまやかに実施している。一人一人に時間をかけてじっくりと学校の様子や募集要項の内容についても説明することができている。学校訪問については、毎年、今治市、四国中央市、西条市、新居浜市の各高校を回って、本校の教育活動の取組を説明している。また、今年度は、私立松陰高等学校、愛媛県立西条農業高等学校や愛媛県立新居浜商業高等学校、愛媛県立新居浜西高等学校（通信課程）の進学ガイダンスに参加して学校説明を行った。

また、修得者コースが設置されていること、高等教育の無償化等の認可校になっていること、ABEまつ毛エクステンション認定校であることなどを、インスタグラムやホームページ、募集要項等に掲載して、広く周知していただけるよう取り組んでいる。進学ガイダンスでは、今年度は愛媛県立新居浜商業高等学校、愛媛県立西条農業高等学校、愛媛県立新居浜西高等学校（通信課程）で開催した。

（８） 財務

評価項目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1	
b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1	
c 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1	
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1	

<現状>

今年度、昼間課程は 7 1 期生10人、通信課程 2 4 期秋生（理容科 4 名、美容科 5 名） 9 名、修得者コース 2 4 期春生 3 名である。次年度については、2 月末現在で、昼間課程 7 2 期生 1 5 人、修得者コース 2 5 期春生 3 人が入学予定である。近年の少子化の影響も大きく、毎年、財務状況は生徒数に大きく影響される。今後も継続して生徒数を確保するなど、長期的な財務基盤の安定に努めなければならない。令和 6 年度の予算・収支計画については、税理士や社会労務士などの専門家にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案しているため、黒字決算であった。会計監査も毎年、理事会の監事により適切に行われている。

（９） 法令等の遵守

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1	
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1	
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 2 1	
d 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1	

<現状>

個人情報に関しては令和3年度より通信機器のセキュリティー対策を強化し、外部からのウイルスの侵入に備えている。校内で活用しているWi-FiのSSIDについても、Wi-Fiからのウイルスの侵入を防ぐため、生徒用と教員用のSSIDを区別している。学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価委員会を開催して外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めている。また、自己評価結果や学校関係者評価委員会の結果については、毎年ホームページ上で公開するなど、情報公開や法令等の遵守に努めている。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていききたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	④	3	2	1
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

<現状>

今年度は、特別養護老人ホーム「つばき」と連携して、お年寄り対象にハンドマッサージやネイリングの施術を行うなど、地域貢献ボランティア活動を行った。また、新居浜市青年会議所主催のNIIHAMA JOB VILLAGE(ワクリエ新居浜) のイベントにも参加し、小・中学生がワインディングやヘアメイクの体験をして、美容の仕事の楽しさや大変さを実感できるようにした。このような社会貢献ボランティア活動は、学生にとっても様々な人々と触れ合う場であり、人間力を培う良い機会でもある。今後も地域貢献ボランティア活動に継続して尽力し、より一層、地域に開かれた学校づくりに尽力していききたい。今後も社会に自ら貢献できる主体的な人間を育成するため、生徒一人一人のボランティア精神を高めながら、様々な場面で地域貢献活動の幅を広げていききたい。